

広島工業大学附属図書館

# 図書館だより

H.I.T.Library Communications

第70号

2013.3

## 目次

図書館の過去・現在・未来 ……P1~P2

学生アドバイザーの活動紹介 ……P3~P4

オススメ本の紹介 ……P5

図書館お仕事紹介 ……P6

図書館からのお知らせ ……P7





# 図書館の 過去 現在 未来

この度「図書館だより」は第70号を迎えました!

それを記念して、図書館のこれまでの振り返り、現在を経て、未来を見つめてみました。



Before



Today

## 1階 図書館入口

昔の写真には20号館が存在していない。耐震のために造られた図書館正面の壁もなかった。これだけでずいぶん雰囲気が違う。



Before



Today

## 1階 自習室

今では机の仕切りがなくなり、模型や設計図を広げたり、グループで学習する学生の姿が多く見られる。



Before



Today

## 2階 休憩室

昔に比べて、机も椅子も大きくなり、ゆったり過ごせる雰囲気になっている。



Before



Today

## 2階 入口

昔は閲覧室の入り口前にカウンターがあった。現在は入室ゲートが設けられ、その横に事務室が作られた。カウンターは閲覧室の中にある。



Before



Today

## 2階 閲覧室

昔は書架の数がまだ少なく、座席数が多い。今と比べると蔵書数の差は歴然。こうして増えてきたたくさんの図書を、多くの利用者に使ってもらいたい。



Before



Today

## 3階 メディアの森

ここは2011年9月にリニューアルされたばかり。机と椅子が整然と並ぶ空間だったのが、今や様々なAV機器をそろえて、利用者に視聴覚サービスを提供している。





## 図書館の未来 — そのイメージ —

鶴 衛学長



日本にもようやく「実力時代」が到来したように感じる。学歴という紋所で生きていた時代はすでに去ったようだ。今日、大企業が絶対永遠でなくなった事情と同じである。実力が求められる時代が来ていることを肝に銘じよう。

そこで、実力を養うことに心を配らねばならない。では、実力は何かから創られるものだろうか？—私は、「能動的な学習力」を身につけられるか否かが鍵を握っていると考えている。

若者がぶつかる現実を想像してみよう。課題に直面しその解決を図る、あるいは与えられたミッションを実現する、といった場面では、まず、すばやくかつ的確なその取り組み設計図を描く能力が必要になる。

こうした能力は、講義を聞くだけの受け身の学習では十分に養えない。学びの基本は教室にあるが、第二の学習ゾーン・能動的な学びを促す場が不可欠になってきている。

本学においては、ラーニングコモンズやグループ学習ができる共同学習スペース、そして、学習・キャリア・国際交流などの支援ゾーンがすでに置かれている。いずれも自発的な学びができる力の育成をねらったものである。

今日、日本のいくつかの大学に“未来対応型”と思えるような新しい図書館が現れている。その方向はまさに、「能動的学習力」育成に向いている。具体的には、本学では分散しておかれている機能を図書館に集中させることで進化を図っている。

しかし、ハード面（施設）ではそうした対応が見てとれるが、進化した機能を十全に動かすスタッフ（人材）の育成に触れているところは少ないようだ。

こうした点を視野におきながら、本学図書館も進化させなければならないとイメージしている。

## 図書館年表

1972年01月	図書館専用建物完成 蔵書数 62,885冊
1979年09月	図書館だより創刊
1990年04月	情報センタービル20号館 新築完成 同ビル2、3階を図書館に使用 蔵書数 155,807冊
1991年04月	AVライブラリー開設
2002年09月	芸予地震の影響のため 図書館正面に耐震壁を建設
2003年01月	図書館ホームページ公開
2004年11月	自動貸出機導入
2007年06月	夜間開館スタート
2008年01月	図書館ブログスタート
2008年08月	第1回ブックハンティング開催
2009年04月	講義棟Nexus21内に ラーニングコモンズ新設
2010年07月	図書館キャラクター決定
2010年07月	ポイントカードサービス開始
2011年04月	学生アドバイザー制度開始
2011年09月	AVライブラリーリニューアル 名称「メディアの森」に決定

## 日々是好日 — 図書館追憶 —

附属図書館長 景山 三平館長

図書館サービス及び資料のデジタル化、ネットワーク化は急速に進んでいます。そんな中、41年間の大学教員生活の最後の3年間を館長として過ごし、楽しく有意義な時間でした。その理由は、有能な職員と二人の気の利いた事務長との出会いと大学の図書館活動への理解の大きさでした。前者は館内の通常のスムーズな業務の遂行、後者は図書館の諸環境などの改善につながりました。私の目標は、デジタルと紙が併走する時代、大学を含めた地域の有意な文化発信基地、即ち、便利施設だけではなく心の栄養素の宝庫として文化保存機能も兼ね備えた交流の場、の構築だったのですが、道半ばです。先般、明治大学の中央図書館を見学する機会を得ましたが、利用環境や空間の間取りの巧妙さなど将来の図書館の姿を垣間見ました。本学でも学生・院生・職員・教員・地域の人々のより多くの利用が得られるよう教育・研究・教養活動支援機能の更なる充実が求められています。図書館の益々の発展を祈念しています。





# 図書館学生アドバイザーの活動紹介

## 「図書館学生アドバイザー制度」って？

先輩の大学院生が自身の体験にもとづいて、学生のみなさんの勉強や研究を支援するサービスです。

## 学習支援活動

毎週月曜日から金曜日は17:00から21:00、土曜日は12:30から16:30に、図書館の2階・3階カウンターで活動しています。



相談風景



学生アドバイザー選書コーナー

そこで、レポート、論文の書き方、資料の選び方・探し方、または学科別の専門的な質問など学生のみなさんからの相談を受けています。専門的な質問や大学院への進学について相談したいことがあれば、学生アドバイザーカレンダーをチェック!! HPや館内掲示などで、どの学科のアドバイザーがいついるか確認できます。大学院生ということで、身近な目線でアドバイスを受けられるなど、みなさんの学習や研究の手助けになること間違いなし!!



その他こんな事も  
やったよ!

## クリアファイルデザイン

学生アドバイザーが学習に役立つ  
オリジナルクリアファイルをデザイン

各学部学科に関連する公式や専門用語など、学習の参考になるものをクリアファイルにデザインしました。色を使い、鮮やかになるように工夫しました。また、図を載せることでイメージしやすいものになりました。学習に役立つと思うので今後もバリエーションを増やしていきたいです。



## イルミネーション管理

先輩学生アドバイザーからイルミネーションの管理を任された新見くん

イルミネーションの回路図を見ながら回路の不具合を探したり、問題点の改善策を考えたりしています。

イルミネーションの管理を引き継いだ頃は、イルミネーションの配線が多いため回路の配線がすぐはずれてしまうことがありました。そこで、回路を組んでいるブレッドボードの配線位置を少し変えたり、外れやすい線を固定したりと工夫したことで、最近では、イルミネーションに不具合が起こることがなくなりました。



## 折り紙建築作成

ものづくりを気軽に楽しめる折り紙建築!!

一枚の紙に切れ目を入れ、折り曲げると建築物や図形になったりします。

完成した時にきれいに見えるように、折り目をはっきり付けました。そうすることで、完成したものに立体感が出るようになります。多くの学部生も展示に協力してくれました。





## イベント

### ★グッズハンティング

実際に店に行き、商品を手にとって、学習時や作業時に使用する便利な雑貨・文具を選ぶ活動。

それぞれの雑貨・文具に対して、どういった使い道があるかアイデアを出し、吟味しながら選ぶことができ非常に楽しかったです。



### ★ブックハンティング

実際に書店に行き、本を見ながら学生の学習の手助けになるような本や、みんなに読んで欲しい本を選ぶ活動。

院生という立場から、学部生だった頃の自分を思い出して、どのような本があれば勉強に興味を持てるか考えながら本を選びました。

その他、ひとつの分野に偏ることなくバランスを考え、見やすく、解説もわかりやすい本を選ぶように心がけました。また、少しでも多くの学生に読んでもらえるように、話題の作家の著書なども選びました。

たくさんの本に触れ、後輩達のために学習しやすい本を選んだことは、貴重な経験になったし、他の学生のことを考えながらの活動で、とても有意義でした。



### ★図書館総合展

図書館総合展に参加しました!!

図書館総合展は、図書館を使う人、図書館で働く人、図書館に関わる仕事をしている人達に、フォーラムやプレゼンテーション、ポスターセッションなどの様々な企画や展示等を通して、今後の図書館について考えてもらおうと毎年横浜で開催されているものです。

今年は3日間で約3万人の来場がありました。

本学からは、学生アドバイザーの2名が、ブックハンティング、イルミネーション、クリアファイルデザインなど、学生と図書館のコラボレーションについてポスター展示による発表を行いました。

ポスターに載せるべき活動の  
題目探しと、どのようにポスターを  
見せれば分かりやすいのかという  
デザインを決めることが難しかったです。



他大学の図書館でも  
「学生アドバイザー制度」を行っている所があり、  
自分たちの今後の活動の参考になりました。





# オススメ本の紹介

どの道も  
「好きこそ物の上手なれ」が共通項

→コレがオススメ!

『**天地明察**』



角川書店

沖方丁 著  
江戸時代前期に将軍に囲碁を教える安井算哲が、星の観測と算術に興味をもち過去800年にわたり使われてきた暦のズレを修正し新しい暦を作った物語です。  
天体と算術を愛した主人公。好きな事にはおのずと熱中できる点はどの道でも同じではないでしょうか。就職に迷っている人に読んでもらいたい1冊です。



古川 輝雄先生  
工学部 電気システム工学科

テクニックの前に本質を学ぼう

→コレがオススメ!

『**日本語のうまい人は英語もうまい**』



講談社

角行之 著  
SE(システムエンジニア)であった著者の実績から英語に対する取組みを説いている本です。英語はイントネーションも大切だが、伝える気持ち、伝えたいことを明確にすることが重要。これは、海外で通じるための英語学習の本質です。そして、コミュニケーションの本質だと言えます。巧妙洒落な語り口で読みやすいのでお勧めです。



小嶋 弘行先生  
情報学部 知的情報システム学科

世界を動かしたジャガイモの魅力

→コレがオススメ!

『**ジャガイモの世界史**

—歴史を動かした「貧者のパン」—



中央公論新社

伊藤章治 著  
ジャガイモは、「食べない人はいないのでは?」というほど身近な存在ですが、ジャガイモが世界を救う食物だということは知っていますか? 痩せた、寒い土地でも育ち、世界中で栽培され、栄養価も高いジャガイモ。そんなジャガイモを通してちょっと変わった目線から世界史を見るのはどうでしょう? 食に興味のある人に特にオススメです。



金 凡性先生  
環境学部 地球環境学科

「生かされている」ことに気がつくとき人は「やさしく」なれる

→コレがオススメ!

『**21世紀に生きる君たちへ**』



世界文化社

司馬遼太郎 著  
自然とは「不変」であり、人間にとって「大きな存在」であるという現実。さらに、「人生の目標」として大切な「自己の確立」の意味や重要性などを改めて感じさせられ、ショックを受けました。医療職種だけでなく、誰かのために役に立ちたい、誰かに必要とされたいと感じた時、忘れていた「大切なもの」を再確認させてくれる本です。



前田 康治先生  
生命学部 生体医工学科

食べる物は自分で選べるからこそ知ってほしい

→コレがオススメ!

『**食品の裏側**』



東洋経済新報社

安部司 著  
普段口にしてる食品にどれだけ添加物が含まれているかを知らない人がほとんどでは?? この本は、食品添加物を批判するのではなく、それらのつきあい方が書かれています。安さや便利さには理由がある。気にとめることが少ないであろう成分表示に目をむけ、食品添加物がどういふものか知るきっかけになればと思います。



松浦 崇さん  
電気電子工学専攻

リアリティ溢れる作品で鳥肌が立ちました

→コレがオススメ!

『**空飛ぶ広報室**』



幻冬舎

有川浩 著  
不慮の事故で夢を奪われた主人公が自分自身を見直し、自衛隊広報官として前へ進んでいく物語です。読みやすい文章なので普段読書をしなない方にもオススメです。私の場合は主人公に感情移入しながらあつという間に読み終えていました。また、東日本大震災について自衛隊の立場からの奮闘や苦悩も描かれています。泣きたいときや、自分ではどうしようもない状況に立たされた時に読んでほしいです。



上西 直也さん  
機械システム工学専攻

熟読しなくていい本

→コレがオススメ!

『**ボールのようなことば。**』



東京系井重里事務所

糸井重里 著  
著者が若い人に届けたい言葉を綴った本です。新入生はもちろん、一大学生が読むと自分と重なる(共感できる)言葉がたっぷりつまっているの、普段本を読まない人でも読みやすいと思います。悩んだとき、ふと思いついたときに適当にパッと開いたところを読んでみて下さい。なにか答えをくれるかもしれません。



木村 実香さん  
環境学専攻

早めにマーケティングに触れるチャンス

→コレがオススメ!

『**コトラーのマーケティング入門**』



ピアソン・エデュケーション

フィリップ・コトラー 著  
学生がマーケティングの知識を持っておくことは重要だと考えます。就職活動の時にも役立つし、社会人になっても、その仕組みや方法論を知っているだけで得をする場面が必ず出てきます。本書は、マーケティングの基礎についてわかりやすく説明されています。まずは、雑学として「知っけばいい!」くらいの気持ちで、気軽に読み飛ばせばいいと思います。



伊藤 敦事務長  
附属図書館 事務長





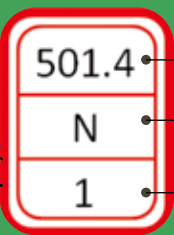
どの本にしようかなあ

# 図書館の仕事紹介

## 選書から配架まで

Hiroshima Institute of Technology

ええっとこの本は…



### 1 選書

主に、学生の自学自習や教員の教育研究に必要な図書、その他、一般教養や資格・就職関連の図書を選んでいきます。

また、学生アドバイザーによる選書や、学生による選書ツアー「ブックハンティング」を行うなど、学生目線で図書を選ぶことも多くあります。

さらに、図書の購入希望も受け付けています。図書の内容や所蔵を確認し、検討のうえ購入をします。

### 2 発注

フムフム、これを頼もう

選書された図書の重複チェックをし、Web上の発注システムを使って発注書を作成、書店に発注依頼をします。発注書には図書を特定できる情報を入力します。出版社から直接本を購入することもあります。

納品された図書が発注したものと同じでないか、落丁、乱丁等がないか確認し、購入の手続きをします。



### 3 登録

#### 分類

日本十進分類法(日本で使われている図書分類法)に基づき、図書の内容ごとに分類しています。本の背表紙にはあるラベルの数字が分類を表しています。

#### 目録

図書などの書誌情報(著者名・書名・発行所・発行年など)を集めたものを図書目録といいます。

図書を登録する際は、オンラインの図書目録システムを利用して、書誌情報を入力しています。

オンラインの図書目録システムは多くの図書館で利用されており、各図書館で新たな書誌の入力や修正などを行うことで整備されています。そうすることで、館内やwebでの図書検索、大学間の相互貸借(ILL)に役立てるところができます。

#### 装備

ラベルや返却期限表、本が傷まないよう透明なカバーを装着します。

#### 請求記号

分類番号

書名の頭文字をアルファベットで記載(日本の小説のみ著者名の頭文字をカタカナで記載)

巻号(ないこともある)

### 4 配架

新しく買った図書は、まず新着図書コーナーへ配架されます。

学生アドバイザーの選んだ図書は、学生アドバイザー選書新着図書として配架されます。

一定期間が経つと、図書は **請求記号** 順に通常の書架へと配架されます。

文庫コーナーや特集コーナーなど、それぞれのコーナーに配架されている図書もあります。



# 図書館からのお知らせ

## ●開館時間について

【授業期間】平日 9:00～21:00  
土曜日 9:00～16:30  
【学生休業期間】平日 9:00～17:00  
土曜日 9:00～12:30



## ●図書館からの情報はこれをチェック!

### 図書館ニュース

リアルタイムな情報を随時メールで配信。  
イベントのお知らせなどもあるので、こまめにチェックしてください。

### 図書館だより

年1回発行。  
図書館が行っているさまざまな活動等を紹介する広報誌。  
皆さんに図書館を身近に感じてもらえるような情報をお届けします。

### 図書館ホームページ

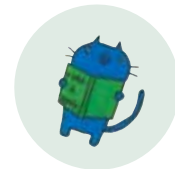
総合的な情報はココ!  
館内のお知らせ、新着図書・AV案内・開館カレンダーなど、あらゆる最新&詳細情報はココでチェック。  
連載200回を超えるブログも元気にお届け中☆

URL:<http://www.it-hiroshima.ac.jp/institution/library/>



### 延滞お知らせメール

本をうっかり返し忘れていた方に、返却期限をメールでお知らせ。



## ●ガイダンス・オリエンテーション

図書館ガイダンス・オリエンテーションをご希望に応じて行っています。どしどし、ご参加ください。

問い合わせ連絡先 mail:lib-etsuran@it-hiroshima.ac.jp tel:082-921-4219

### 表紙のデザインについて

今回も表紙を美術部のみなさんにお願しました。  
この度提供してくれたデザイン案に加え、今回表紙に  
選ばれた池田さんとみなさんのコメントを紹介します。  
美術部のみなさん、ご協力ありがとうございました!

どれも  
力作だね!



知的情報システム学科  
池田 千紘

本から世界が飛び出すイメージを表現してみました。日常の一部として、この施設を利用している自分がテーマです。  
この絵から図書館に少しでも親しみを持っていただけたら、と思います。



知的情報システム学科  
吉田 正己

図書館便りの表紙デザインを考えさせて頂いたのは二回目ですが、楽しみながら描きました。普段お世話になっている図書館のお役に立てたのなら嬉しいです。



知能機械工学科  
山本 裕也

冬の寒い中、バスを待つ間、本を読む。その一時を感じてほしいです。



知能機械工学科  
山本 真理

図書館の外観はこんな感じかなと思いながら描きました。それにしても図書館のキャラクターは可愛いと思います。



地球環境学科  
松本 翔也

見たひとがなるべくほんわりとした雰囲気になるようにデザインしたつもりです。なるべく手描き感を出したかったからコマ枠はフリーハンドでした。

広島工業大学 附属図書館

[住所] 広島市佐伯区三宅2丁目1-1 [tel] 082-921-4189  
[mail] library@it-hiroshima.ac.jp